

墨田区基本計画等区民ワークショップ

区への提案書

平成28年1月23日

1 はじめに

私たちは、平成 28 年度を始期とする新しい墨田区基本計画の策定、そして「まち・ひと・しごと創生法」に基づく墨田区総合戦略の策定にあたって、区民の視点からの提案を行うため、墨田区基本計画等区民ワークショップへ参加しました。

参加した 34 人は、年齢も、仕事も違えば、考え方もさまざまでしたが、ただ一つだけ同じ思いを持っていました。それは「将来のすみだがもっともっと素敵なまちになってほしい」ということです。

34 人が「生涯学習・健康・福祉」「防災・環境・まちづくり」「子育て・教育」「産業・観光・文化」という 4 つのグループに分かれ、それぞれの分野における現在の課題、将来のあるべき姿などを議論し、これから 10 年間で取り組んでいくべきことについてまとめました。

東京スカイツリーや北斎美術館の開業、東京オリンピック・パラリンピックの開催など、墨田区が置かれる環境はどんどん変わっていています。社会の変化の速い時代において、区の実組はもちろんです、私たち区民や区内で働く事業者が、自ら積極的に行動していくことが大切です。

私たちの提案が、区と区民、そして事業者の心に届き、それぞれの役割を果たすことで、10 年後のすみだが今以上に素晴らしいまちになっていることを願っています。

平成 28 年 1 月 23 日

墨田区基本計画等区民ワークショップ 参加者一同

目 次

生涯学習・健康・福祉グループ資料

．．．．． 1

防災・環境・まちづくりグループ資料

．．．．． 1 2

子育て・教育グループ資料

．．．．． 2 7

産業・観光・文化グループ資料

．．．．． 3 8

生涯学習・健康・ 福祉グループ

墨田区基本計画等区民ワークショップ
区への提言

すみだの良いところと課題

◎良いところ

- ✓ 元気な高齢者が多い
- ✓ 河川敷でスポーツが楽しめる
- ✓ 下町気質・人情でイメージが良い
- ✓ 新しいこと・モノを取り入れる

●課題

- ✓ 高齢化して単身高齢者が多い
- ✓ 高齢者の活躍の場や生涯学習の場がない
- ✓ 運動施設の整備が足りない・スポーツを楽しむ人が少ない
- ✓ 新しい住民や若い人が参加しにくい（融合が難しい）

あるべき10年後のすみだの姿

◆高齢者が元気でいきいき暮らし、みんなにやさしいまち

◆延ばそう、心身の健康寿命！

◆3つの「C」で輝くすみだ

➤ コミュニティ、コミュニケーション、コラボレーション

➤ チャレンジ、チェンジ、チャンス

◎キーワード

「つながり」「人づくり」「学びあい」「支えあい」

生涯学習・健康・福祉プロジェクト

◎ **共通目標～心身の健康寿命を延ばす！～**

- 1 水資源（水辺）を活用したスポーツ環境
- 2 生涯学習型の大学誘致
- 3 地域包括ケア型の健康・福祉

1 水資源（水辺） を活用した 健康増進

1 水資源（水辺）を活用した健康増進

◆誰のために・何のために？

- ✓ 身近にある環境を利用して、区民が運動機会を増やす
- ✓ 運動機会の増加により、健康維持と健康寿命を延ばす

◆どこを？

- ✓ 北十間川（特に北十間樋門と源森橋の間）、豎川、旧中川、荒川遊歩道など
 - 川の利用申請が他区と比べて少ない

◆誰が？何をする？

- ✓ 区が、施設、各河川をつなげ墨田区内をつなげる自転車道（レーン）、道具などを整備
- ✓ 区民が、イベントに積極的に参加、施設を積極的に利用
- ✓ 事業者が、ツアーガイドとして活動

1 水資源（水辺）を活用した健康増進



1 水資源（水辺）を活用した健康増進



1 水資源（水辺）を活用した健康増進

◆期待される効果

- ✓散歩・ランニングやサイクリングが楽しめる
- ✓カヤックやSUP（平水面をクルーズしたり、フィッシングを楽しんだりするウォーター・スポーツ）ができる
- ✓子どもから高齢者まで楽しめるスポーツの選択肢が増える
- ✓区民の健康が増進され、区外からも遊びに来る人が増え、交流人口が増える

2 生涯学習型の 大学誘致

2 生涯学習型の大学誘致

◆誰のために？何のために？

- ✓ 中高年（40～60歳代）が再学習できる
- ✓ 幅広く市民が子どもから高齢者まで一生涯学ぶことができる

◆誰が？何をする？

- ✓ 区が、生涯学習に特化した大学を誘致
- ✓ 大学が、ネットやオンデマンドを活かした授業を展開

2 生涯学習型の大学誘致

◆具体的な内容

- ✓ みんなが集まりやすい堅苦しくないセミナーの実施
- ✓ 人口1%（約2,500）が受講できることを目指す
- ✓ 対学生と対住民への付加価値がある
- ✓ 区民が集まりやすいところに、生涯学習のスペースと行政サービス（住民票発行など）を受けられる場所がある

2 生涯学習型の大学誘致

◆期待される効果

- ✓昼間人口の増加で税収増加が期待できる
- ✓地域住民のコミュニケーションが向上する
- ✓生活が便利、豊かになり、若き人が住みたい人気のあるまちになる



3 『地域包括ケア』を 活かせる健康・福祉

「地域包括ケア」とは

地域包括ケアシステムの5つの構成要素と「自助・互助・共助・公助」

平成25年3月
地域包括ケア研究会報告書より

○高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指す「地域包括ケアシステム」。

地域包括ケアシステムにおける「5つの構成要素」



「介護」、「医療」、「予防」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」と生活支援・福祉サービスが相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えている。

【「住まいと住まい方」】

●生活の基盤として必要な住まいが整備され、本人の希望と経済力に合った住まい方が確保されていることが地域包括ケアシステムの前提。高齢者のプライバシーと尊厳が十分に守られた住環境が必要。

【生活支援・福祉サービス】

●心身の能力の低下、経済的理由、家族関係の変化などでも尊厳ある生活が継続できるよう生活支援を行う。

●生活支援には、食事の準備など、サービス化できる支援から、近隣住民の声かけや見守りなどのインフォーマルな支援まで幅広く、思いやりも多岐。生活困窮者などには、福祉サービスとしての提供も。

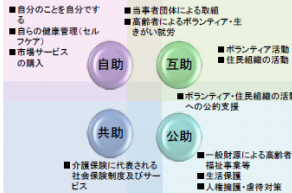
【介護・医療・予防】

●個々人の抱える課題にあわせて「介護・リハビリテーション」「医療・看護」「保健・予防」が専門職によって提供される（有機的に連携し、一体的に提供）。ケアマネジメントに基づき、必要に応じて生活支援と一体的に提供。

【本人・家族の選択と心構え】

●単身・高齢者のみ世帯が主流になる中で、在宅生活を選択することの意味を、本人家族が理解し、そのための心構えを持つことが重要。

「自助・互助・共助・公助」からみた地域包括ケアシステム



【費用負担による区分】

●「公助」は税による公の負担、「共助」は介護保険などリスクを共有する仲間(被保険者)の負担であり、「自助」には「自分のことを自分でする」ことに加え、市場サービスの購入も含まれる。

●これに対し、「互助」は相互に支え合っているという意味で「共助」と共通点があるが、費用負担が制度的に裏付けられていない自発的なもの。

【時代や地域による違い】

●2025年までは、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみ世帯がより一層増加。「自助」「互助」の概念や求められる範囲、役割が新しい形に。

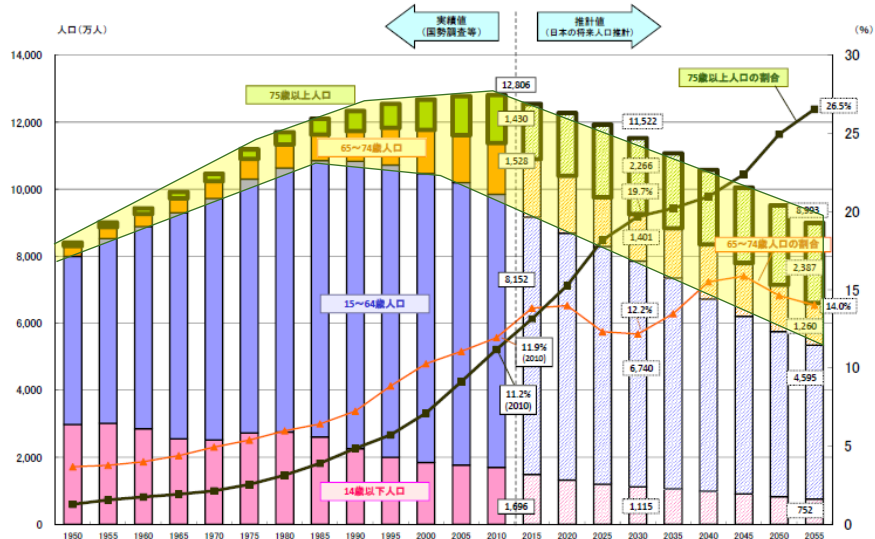
●都市部では、強い「互助」を期待することが難しい一方、民間サービス市場が大きく「自助」によるサービス購入が可能。都市部以外の地域は、民間市場が限定的だが「互助」の役割が大きい。

●少子高齢化や財政状況から、「共助」「公助」の大幅な拡充を期待することは難しく、「自助」「互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取組が必要。

人口推計

参考

中央社会保険医療協議会と介護給付費分科会との打ち合わせ会 資料より



3 『地域包括ケア』を活かせる健康・福祉

◆誰のために？何のために？

✓ 区民が健康的な生活を送るための、活用できる「知識」を身につける。実際に活用する。

→就活、婚活、終活・・・等、様々な「活」がある

→**健康**寿命を延伸する**活動**

「健活」があっても良いのでは？

- 各組織・個人の知恵を、「コンテンツ」として提供・共有
- 区や事業者が、実践の「場」や「機会」を提供

得意分野はそのままに。

少しだけ、周りに手を伸ばす。

「知らない」ことによって生じる最悪のシナリオ (極端な例ではありますが)

検診で「2型糖尿病」の疑いあり、と指摘される

↓

自覚症状がないので、病院に行くことなく放置・・・

(忙しいし、ひどくなったら考えよう)

↓

気が付いた時には「腎臓」の機能が低下。

糖尿病の治療開始。しかし、状態は進行しているため、コントロールが難しい。

週3回の透析に通うことになる（1回5時間以上かかる）。

(もっと早く、重要性に気が付いていれば!!)

たとえば・・・

- 健康診断の受診

…町内でプチ「検診ツアー」＋お花見＝イベント化

- スポーツイベント、体育祭

…＋ 体力測定、＋ 水分補給のコツ

- 休日の学校「調理室」…低塩分のおいしい料理教室

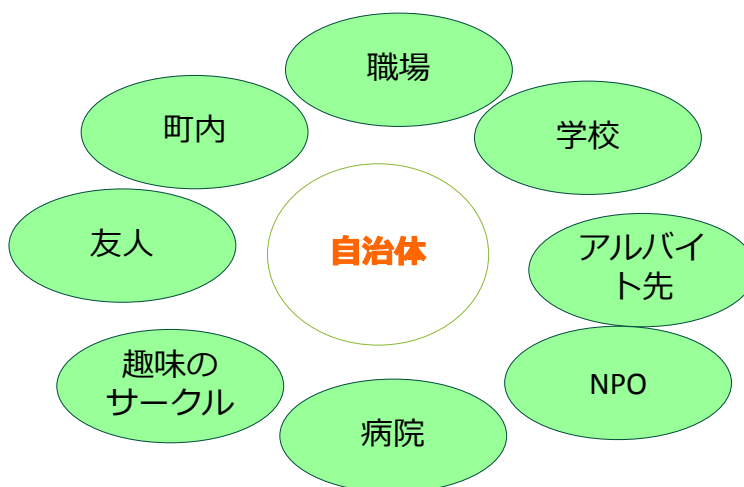
→場所の提供・許可取得：区役所？

教師：病院勤務の栄養士、ホテルのシェフ、大学のカリキュラムとして週1回コース等

参加者：区民（男性でもできる「鍋1つコース」や、男子会の形式でも）

利益：健康な食事を家庭内に

それぞれの長所を共有し、「つながり」強化



「窓口」の常設、定期的なプラン募集・・・など

3 「地域包括ケア」を生かせる健康・福祉

◆具体的な内容

- ✓みんなが集まりやすい堅苦しくないセミナーの実施（何らかのイベントにタイアップ）
- ✓地域住民が気軽に集えるための町会会館や区の施設などを活用した「場」を創造

取り組みが広がれば・・・

- ✓ボランティア団体・NPO・区内事業者の活動活性化。
- ✓介護や傾聴、市民後見人などの手配可能
- ✓区民が集まりやすいところに、生涯学習のスペースと行政サービス（住民票発行など）を受けられる場所がある

防災・環境・ まちづくりグループ

墨田区基本計画等区民ワークショップ
区への提言

10年後のすみだの姿

「最先端な古いまち」を目指して

「最先端な古いまち」を目指して

10年後のすみだの姿

【防災】

- ✓ 路地と防災が共存するまちになっている（※写真を入れる）
- ✓ 災害に立ち向かう準備ができている

【環境】

- ✓ 地球にやさしいまちづくりができている
- ✓ 緑が増え、シンボリックな空間ができている
- ✓ 使い捨てのライフスタイルを見直し、ゴミの発生が抑制されている
- ✓ 資源化率の向上により焼却ゴミが半減している
- ✓ 河川の水質が改善され多様な生物が生息できる環境がある
- ✓ 自然エネルギーによるエネルギー自給自足が普及する
- ✓ 自転車の活用により環境負荷が軽減されている

「最先端な古いまち」を目指して

10年後のすみだの姿

【まちづくり】

- ✓ 自転車マナーが向上し、主要な移動手段となっている
- ✓ 地域の誰もが楽しめる質の高い公園がある
- ✓ すみだらしい、すみだならではのまちづくりが行われている
- ✓ 区民が自発的に、防災・環境等の問題に取り組んでいる
- ✓ 地域活動に参加できる場が多く設けられている
- ✓ 地域住民による企画型講座が増えている

防災・環境・まちづくりの施策

防災・環境・まちづくりの施策

1 防災

- ◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

2 環境

- ◆美しく有名な河川のまちをつくる
- ◆環境に配慮した循環型の社会を目指す

3 まちづくり

- ◆すみだならではのまちづくりを進める
- ◆人にやさしい交通環境を整える
- ◆誰もが参加しやすいコミュニティを育てる（防災などへつながる）

1 防災

施策と施策内容

◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

- 人と人とのつながりを活かし、防災に対する意識を向上させるなど、防災に向けた取組を進める ⇒ まちづくりにつながる
- 区民が防災に触れられる場面・機会を増やす
- 災害に対する備えを強化する ⇒ 人（命）を守り、財産を守り、インフラ・食糧の確保ができる方策を打ち立てる
- 太陽光パネル等、エネルギーを自給できる仕組みを防災へ活用する

10年間の具体的な取組

◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

<区が取り組むこと>

➤地域防災力の強化

- ・災害発生直後に行政と区民が危機事象への緊急対応力を強化するため、専門的な知識と技術を持った災害時支援ボランティア数の増加を促進する。
 - 「東京消防庁災害時支援ボランティア」の推奨
 - 地域に根差した講習会や訓練の実施（資材・機材の設置場所、消化水の確保場所など）
- ・防災ツールを実践で正しく活用できるようにするため、子供からお年寄りまで楽しく参加できるゲーム形式等の講習会を開催する。
 - ハザードマップの活用 正しい避難所の認識確保
 - 防災情報アプリ「墨田区防災マップ」の活用
 - 防災ブック「東京防災」を用いた講習と訓練

10年間の具体的な取組

◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

<区が取り組むこと>

➤条例（ルール）の制定・協定

- ・集合住宅の住民が良好な地域社会の維持および地域活動への参加を支援するため、事業者（デベロッパー）に対し地域コミュニティ（町会その他の地域団体）とのパイプ役を設ける条例を制定する。
 - 町会イベントへの積極的な参加促進
- ・水害発生時の緊急避難先を確保するため、集合住宅へオートロック解除の協定を結び、地域住民の避難先として受け入れを可能とする。

10年間の具体的な取組

◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

<区が取り組むこと>

➢事業者への社会貢献活動の支援

- ・災害時の協定やホームページ（CSR等）で地域社会への貢献を表明している事業者を墨田区のホームページへ掲載することで、区民が事業者への取り組みを理解し、事業者と区民の繋がりを促進する。

10年間の具体的な取組

◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

<区が取り組むこと>

➢IT化による防災力の強化

- ・都市型の災害時に発生する交通マヒ状態からの輸送力や被災地域の監視力を確保するため、無人航空機を利用し、医療品、医療機器や消火器具等の運搬や、避難先の被災状況の確認、夜間の監視、河川の氾濫状況確認等を無人化で迅速に行える環境を整備する。
- ・防災情報アプリ「墨田区防災マップ」などの機能強化
 - 家族を含めた安否確認機能
 - 水害の危険性を知らせる警報（避難アラーム）
 - 火災地域からの非難警報（避難ルートの確保、避難場所からの移動）
 - 被災時でも遅延なく正常に機能が稼働する通信環境の整備（通信環境や安否メールの配信）
 - 次世代GPSによる救援要請の場所特定と無人航空機を連携した救助活動の迅速な対応環境の整備（災害時の飛行マニュアル整備、飛行の安全性確保におけるスカイツリーの利用協定、飛行レコーダー装備等）

10年間の具体的な取組

◆コミュニティとITを活かした災害に強いまちをつくる

<事業者が取り組むこと>

➢地域社会への貢献活動を推奨

- ・地域住民との共存意識を高めるために、防災等の協定締結やCSR（企業の社会的責任）での地域への貢献活動表明、まちの清掃活動や町会等のイベントへ協力・参加する。

<区民が取り組むこと>

➢地域コミュニケーション

- ・防災訓練や清掃活動、町会等のイベントへの積極的な参加を促進するため、家族・ご近所や子を持つ親同士、集合住宅住民同士等、会話の話題としてイベントへの参加を呼びかけ、イベントへの参加を促進する。

➢自主的な防災力の強化

- ・防災ツールの理解と防災訓練等のボランティア活動へ積極的に参加する。

2 環境

施策と施策内容

◆美しく有名なまちをつくる

- 河川の美化水質改善を進める
- 区民が歩道の美化を進める

10年間の具体的な取組

◆美しく有名な河川のまちをつくる

<区が取り組むこと>

➤沿道の美化

- ・整備されていない沿道の緑化を推進するため、沿道緑化用の草花を区民へ無料配布し、道路美化への意識向上を行う。
- ・また、四季を通じて緑を多くするため、沿道や公園の樹木を常緑樹にする。
- ・老朽化（錆、変形）しているガードレール（防護柵）を区画ごとにガードパイプへ切り替える。
- ・流域自治体との連携

<区民が取り組むこと>

➤地域の美化活動

- ・身近な場所への清掃や、地域や河川の美化活動へ積極的に参加し、ポイ捨ての多いまちから、緑と花を大切にすまちへ成長する。

10年間の具体的な取組②

◆美しく有名な河川のまちをつくる



10年間の具体的な取組②

◆美しく有名なまちをつくる



施策と施策内容

◆環境に配慮した循環型社会を目指す

- ゴミの分別ルールを見直す
- 廃棄物の資源化ルートを開拓する
- 廃棄物 ⇒ 資源 ⇒ 再製品化(すみだエコブランド)の循環を生み出す
- 自然エネルギーによる電力を調達する
- 公共施設等への太陽光パネルの設置を進める
- 電気自動車・水素自動車の普及を進める

10年間の具体的な取組

◆環境に配慮した循環型社会を目指す

<区が取り組むこと>

➤環境問題に取り組む人づくり

- ・すみだエコリーダー養成の支援
- ・10年先のすみだを意識した、小学生からの環境教育とエコ活動への支援

➤ヒートアイランド現象の緩和策と対応策

- ・学校校庭や公園の緑化（芝生化）を拡大
- ・緑のカーテンを促進するための、出張ガーデニングによる設置の支援
- ・事業者（ホームセンターや花屋、住宅建築時の施工業者等）と連携した、緑化補助金の活用推進
- ・省エネルギー化の推進（シンボル）としての「すみまるくん」
電気バス増車 → 水素バス導入

10年間の具体的な取組

◆環境に配慮した循環型社会を目指す

<区が取り組むこと>

➤循環型社会への取り組み（ゴミが無い社会を目指して）

- ・エコストア認知度向上とリサイクルの定着を目的とした、すみだポイント付与（期間限定施策）
- ・再資源化の資源回収品目拡大（容器包装プラスチック、蛍光灯や古着など）
- ・生ごみのリサイクル支援（堆肥づくり）
- ・すみだエコブランド（再資源化商品）の推奨

➤低炭素社会に向けての取り組み

- ・23区清掃工場過剰処理能力の削減適正化に向けた、23区協議主導
- ・ものづくりの街として“良いものを大切に長く使う”価値観を高めるキャンペーン
- ・区内循環（地産廃棄物→ 地消区内企業→ 再資源化→ 区内企業→ エコブランド）の推進
- ・レジ袋禁止の検討

10年間の具体的な取組

◆環境に配慮した循環型社会を目指す

<事業者が取り組むこと>

➤CO2排出削減（CO2排出量届出義務 → 排出量削減義務）

➤ヒートアイランド現象の緩和策と対応策

- ・屋上（ベランダ等）緑化を推進するため、補助金利用の案内

➤循環型社会への取り組み

- ・容器包装やレジ袋の削減、ハンガー等の自主回収への取り組み
- ・容器包装プラスチックリサイクル協会加盟事業者を広く公表し、未加盟事業者の加盟を促す

3 まちづくり

施策と施策内容

◆すみだならではのスマートなまちづくりを進める

- 廃校を転用し、区と区民とが協働で運用する仕組みをつくる
- 「環境」と「防災」へ対応したスマートシティの仕組みをつくる

10年間の具体的な取組

◆すみだならではのスマートなまちづくりを進める

<区が取り組むこと>

▶ワークライフバランスの促進

- ・認定制度を作り、墨田区のホームページへ推進事業者を掲載する。

▶多様な働き方の支援

- ・図書館にて区民や区の事業者が利用できるモバイルワーキングスペース（電源やWI-FI無料）の設置。
- ・テレワークを推進するための、テレワーク環境（通信費など）の援助

▶高齢者向け働き方の支援

- ・廃校などのスペースをコワーキングスペースとして区民へ貸し出し、墨田区や区の事業者から委託されたビジネスを共同で行う機会を創出する。

▶熱と火力発電、自然エネルギーを活かした総合公園施設の検討

- ・焼却場のコンパクト化と健康センター、健康ハウス、グラウンド、旧中川までの一帯を総合公園化し、小さな子を持つ家族から高齢者までが交流しやすく一日楽しめる施設や、災害時には自給や自然エネルギーで避難生活を支える環境を検討する。

10年間の具体的な取組

◆すみだならではのスマートなまちづくりを進める

<事業者が取り組むこと>

▶ワークライフバランスの推奨と多様な働き方の支援

- ・一人ひとりの働き方を尊重し、柔軟な就業時間や就業場所になるよう就労規定を見直し、働きやすい環境へ整備すると共に、東京オリンピック開催期間中や災害発生時でもビジネスが継続可能な環境へ整備する。

3 まちづくり

◆人にやさしい交通環境を整える

- 高齢者や子供にやさしい歩道を整備する
- 小さな子を持つ家庭にやさしい自転車環境を整備する

10年間の具体的な取組

◆人にやさしい交通環境を整える

<区が取り組むこと>

- 高齢者や子供の自転車利用における歩道の安全整備
 - ・ 歩道幅が狭い道路へ優先した高低差削減対策（バリアフリー対策）や、街路灯のボールから電柱への設置切り替えやＬＥＤ化（照度の向上）による間引きによる歩道環境の改善。
- 通園で自転車を利用する親への子育て支援
 - ・ 地域の道路事情を含めた交通安全講習の受講を条件に、３人乗り自転車購入や蛍光レインウエアの購入補助により、雨天（特に夜間）時の自転車利用における安全対策を図る。

3 まちづくり

◆誰もが参加しやすいコミュニティを育てる

- 外国人も参加しやすいイベントを開催する
- 最先端な古いまちを目指すコミュニティをつくる
- 町会などへの参加を区民が積極的に促す

10年間の具体的な取組③

◆誰もが参加しやすいコミュニティを育てる

<区が取り組むこと>

➤隅田川花火大会を+αのイベントにする

- ・墨田区民の小学生向けに浴衣を無料で貸し出し、子供達へすみだ文化を育成する。
- ・外国人観光客向けに浴衣のレンタル（ホテルや旅館などより）の補助、北斎美術館での記念撮影写真無料化、区民の積極的な記念撮影協力やコミュニケーションを通し、すみだの人と文化の魅力を人を通じて拡散することで、すみだのインバウンド力を促進する。
- ・現在イベントゴミ一括回収 → 回収量、費用を広く公表し啓発活動をする
- ・一括回収から分別回収へ、地域と協力連携のもと環境配慮型のイベント運営をする

<区民が取り組むこと>

➤カッコ良く、素敵なすみだへ（の参加意識向上）

- ・町会やボランティア活動への参加を「かっこいいこと」、「素敵なこと」として話題にするため、参加者の声や活動内容を主催者側がSNS等を利用し広めていく。

子育て・教育 グループ

墨田区基本計画等区民ワークショップ
区への提言

10年後のすみだ

10年後に実現してほしい墨田区の姿

10年後にすみだはこうなってほしい

- 墨田の子どもが、自尊心をもち、自立し、礼儀正しく美しい街をつくる人として育っている
- 区役所と地域の人とのつながりが強くなり、お互いに理解し、一緒に子どもや子育て家庭を支えている。
- 子育てのスタートとしてかかわる保健センターと区民がゆるやかにつながり、切れ目のない子育て支援によって、安心して子育てできる環境がととのっている

子育て・教育プロジェクト

- 1 墨田区版こども未来創造館
- 2 ガチで清掃作業
- 3 地域の声を聴く会
- 4 保健センター活性化計画

1 墨田区版 こども 未来創造館

1 墨田区版こども未来創造館

自尊心をもち、自立する子を育むために

◆誰のために？

- ✓保護者に、将来自立した子どもを育むための啓蒙活動を行う。
- ✓子どもに、自尊心を育んだり知的好奇心を満たしたりできる機会を提供する。

1 墨田区版こども未来創造館

◆誰が 何をする？

✓**子育て経験者や、有識者、子育て支援事業者、地域の協力者などが、**

✓保護者に対し、将来自立した子どもを育むための啓蒙活動を行う。

- 自己肯定感を子どもにもたせるには？
- しかり方、学びたいと思う心を育てるには？
- 自立した子どもを育てるには？
- 子育て体験記などさまざまな子育てに役立つ講座を開催する。

例：足立区ギャラクシティ
キッズプラザ大阪

1 墨田区版こども未来創造館

◆誰が 何をする？

✓**区役所は**その活動を行う場として、子どもも親も集える“墨田区版こども未来創造館”を設置する。

- ① 保護者だけが上記のような講座のために集うのは物理的に困難なため、こどもたちが楽しい遊びや体験を通じて学び、創造性を培い、可能性や個性を伸ばせるような遊び場を併設し、
- ② こどもと保護者が集えるような場所を設置する。
- ③ また地域の高齢者をスタッフに起用することにより、こども、保護者、高齢者の交流を図る。
- ④ 既存のユートリヤや児童館、子育てひろばの機能強化、他の施設との複合など、多様な方法を検討する。

1 墨田区版こども未来創造館

◆期待される効果

- ✓墨田区の子どもが希望をもって自立、自活できる大人に育つ可能性が高まります。
- ✓活動に地域の協力者を募ることにより、地域のつながりの強化、活性化にもつながります。

2 ガチで 清掃作業

2 ガチで清掃作業

墨田区民が、礼儀正しく美しい街をつくる人に育つ

◆誰のために？

- ✓子どもが自分たちのまちをきれいにする気持ちを育むために

◆どこに？

- ✓公園、河川など公共施設
- ✓可能であれば神社仏閣も

2 ガチで清掃作業

◆誰が 何をする？

- ✓主に、乳児を持つ親子、小学生、中学生、高校生など、
- ✓区役所（企画・予算）、区民（ボランティア）、事業者（専門スキル）と共に
- ✓清掃作業を行う
 - ⇒ ガチで大規模、街を挙げた一大行事
 - ⇒ 既存団体がすでに実施している活動と連携する

◆期待される効果

- ✓墨田区民の暮らしが心豊かになる

3 地域の声を 聴く会

3 地域の声を聴く会

区役所と地域の人をつながりを作る

◆誰のために？

- ✓地域のための事業などに取り組む区役所の姿勢を、地域の方たちに伝える。
- ✓地域に根付くリアルな課題などを、区役所の方たちに伝える。

3 地域の声を聴く会

◆誰が 何をする？

✓区役所職員、子育て当事者、子育て支援事業者、地域の協力者などが、

✓区の公共施設などを利用し、テーマに沿って語り合う場作りをする。

➤たわいもない話から子育て当事者の声を聴き、区として行っていることがあれば噛み砕いて伝える。

➤子育て支援事業者の取り組みを、区と当事者を交え検討し、より良い公共施設になるよう話し合う。

➤町会会館などを利用し、町会の抱える問題などを共有し、区役所として出来ること、子育て当事者としてできることを出し合う。

3 地域の声を聴く会

◆具体的には？

✓子育てひろばで、地域のNPOなどに委託して開催。

✓テーマと日時を決め、役職に関係なく区民の声を聴く耳を持つ職員と、地域のファシリテーターが進行する。

✓テーマ「子育てひろばのいいところや、困っていること、ありますか？ざっくばらんに話しませんか？」

➤ひろばの改善につなげたい

3 地域の声を聴く会

◆期待される効果

- ✓子育て当事者のリアルな声を聴くことにより、地域の課題が見えてくる。
- ✓見えてきた課題に対し、区役所は出来ることと出来ないことのラインを誠実に伝えることが出来る。
- ✓指定管理者などが運営する公共施設の問題点を、子育て当事者を交えて知ることにより、より良い公共施設の在り方を見出すことができる。
- ✓今ある町会を、より良い形で維持継続していくことが出来る。

4 保健センター 活性化計画

4 保健センター活性化計画

保健センターの間口を広げる

◆誰のために？

- ✓不安でいっぱいの出産直後の保護者や、検診などで行く機会のある保護者のために。
- ✓地域で子育て支援活動をする団体のために。

4 保健センターの間口を広げる

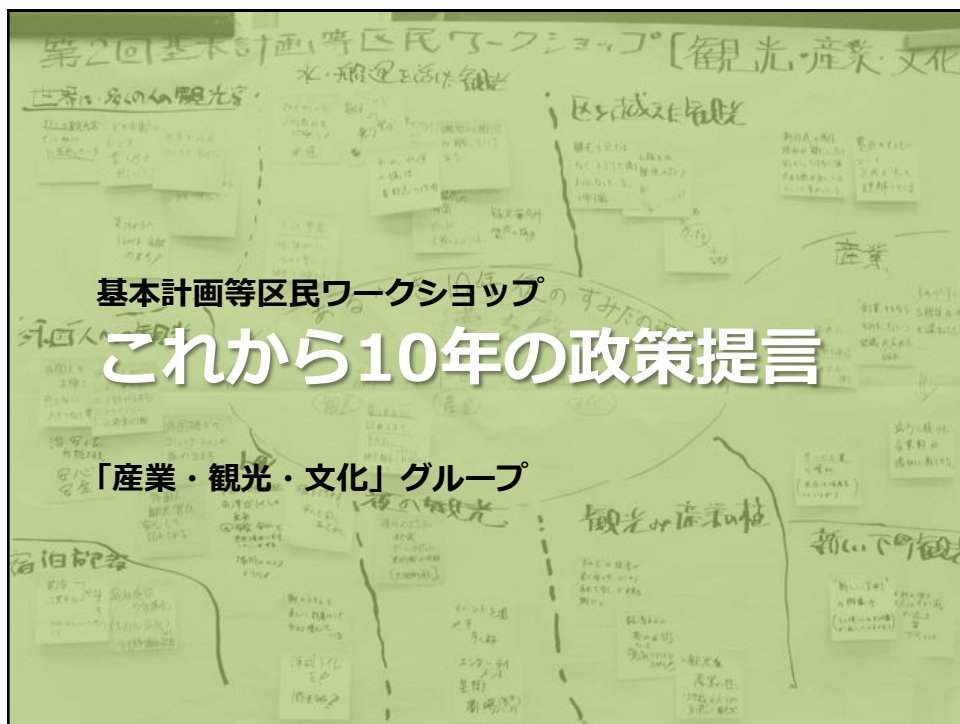
◆誰が 何をする？

- ✓保健センターの利用価値を、医療的な視点からだけでなく、利用者支援という視点から、子育てをしやすくするための施設へと高めていく。
 - 区民と保健センター職員がフラットにコミュニケーションする。
 - 子育て支援者が立ち入れるスペースや場を設け、定期的に話をする場を作る。
 - 子育て当事者のサークルなどの取りまとめ。
 - 保護者同士のつなぎ手の育成。

4 保健センターの間口を広げる

◆期待される効果

- ✓ 出産後最初に訪れる保健センターの印象を良くし、これからこの街で子育てをしていく心地よさを体感することが出来る。
- ✓ 同じ月例の乳幼児を持つ保護者と知り合うきっかけ作りに繋がり、切れ目のない支援やつながりを維持することが出来る。

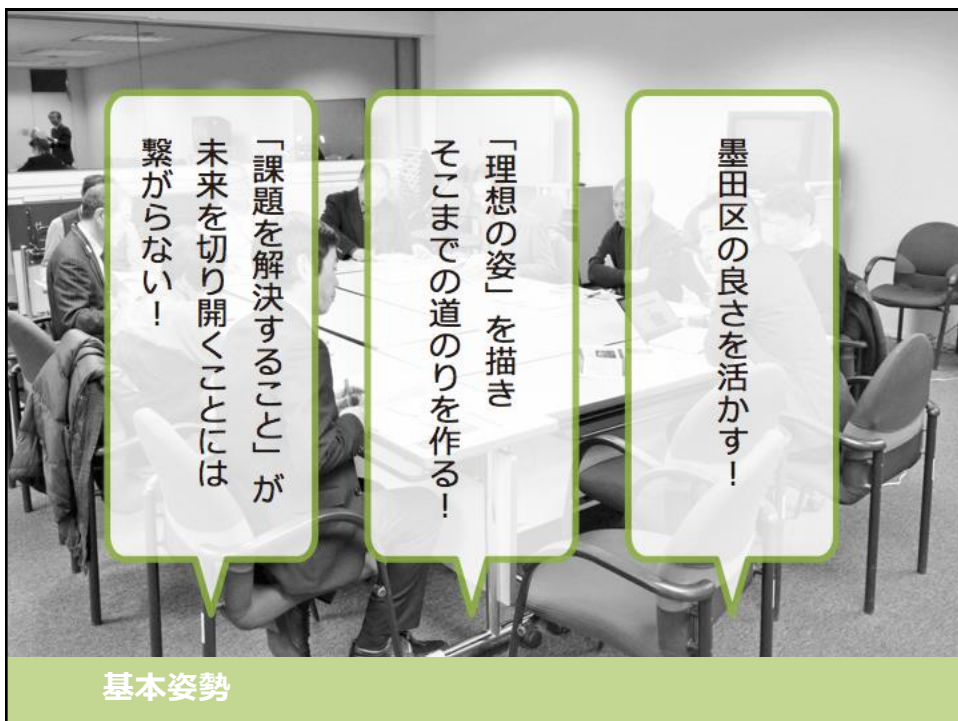


- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

INDEX

- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

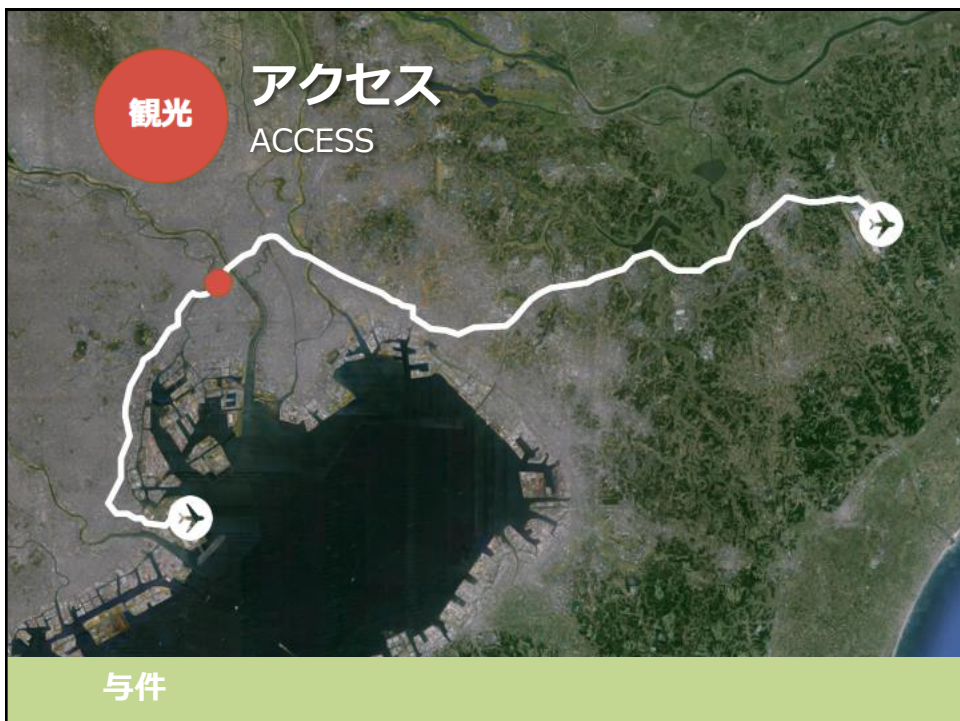
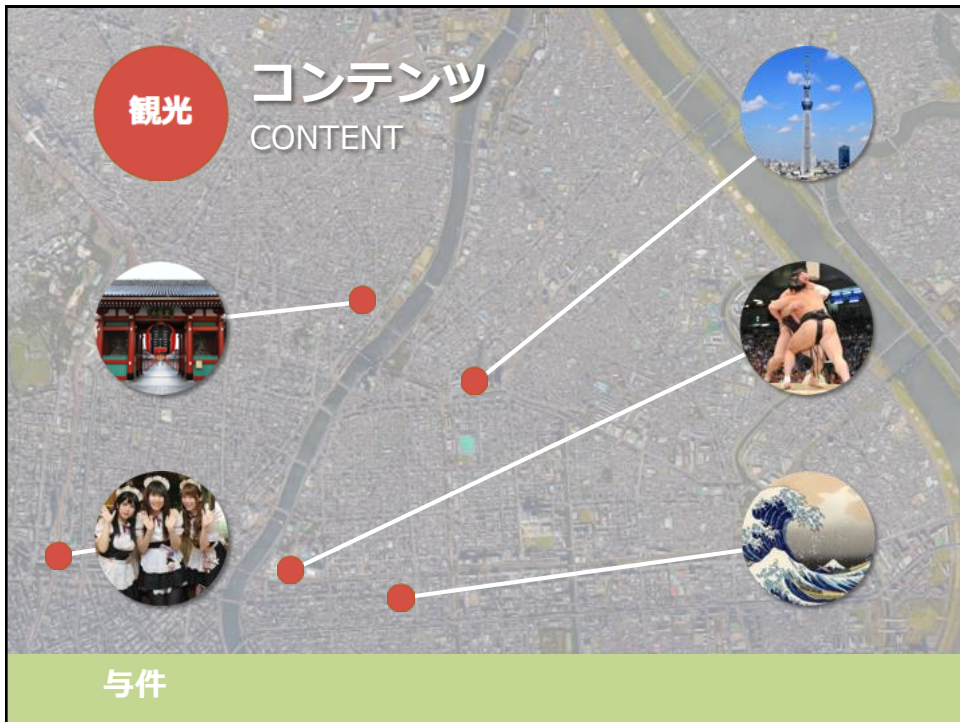
INDEX



- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

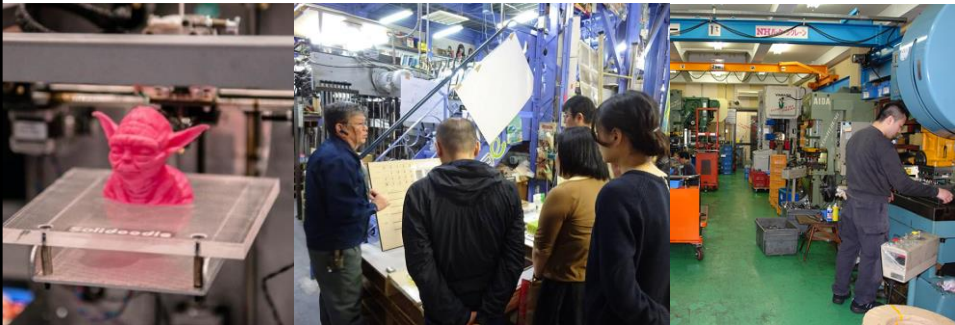
INDEX







ものづくり革命 MAKER'S MOVEMENT



与件



下町文化 SHITAMACHI CULTURE



与件

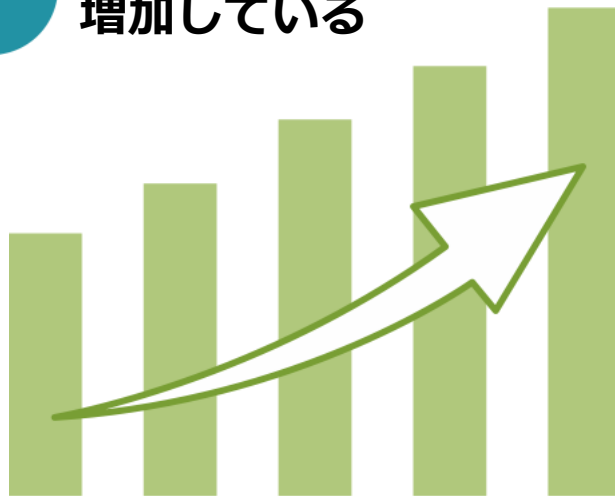
- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

INDEX





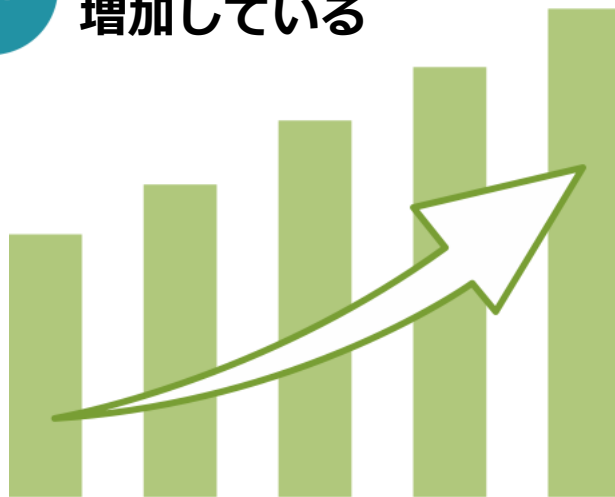
**創業数が
増加している**



10年後のVISION



**サービス業が
増加している**



10年後のVISION



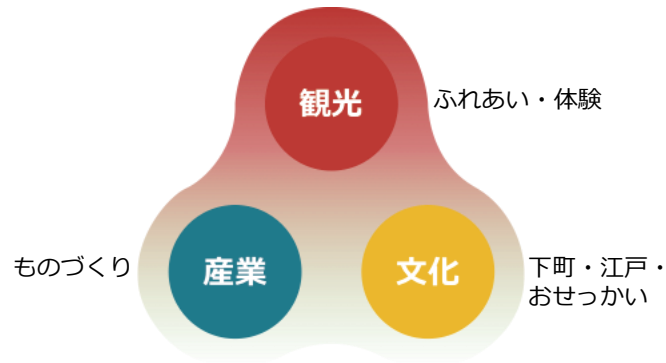




- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

INDEX

**10年後に向けてすみだは
観光・産業・文化を一体化した
特別なまちへ**



コンセプト

**EDOもTOKYOも
体験できるまち、すみだ**

伝統と最先端の融合

コンセプト

- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

INDEX

産業

創業に役立ちすみだの 価値を一覧できるサイト

製造
加工拠点



新ものづくり
創出拠点



職人



古民家



具体的施策



観光

子供観光ガイドの育成



具体的施策

観光

水辺の素敵な活用



具体的施策



- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

INDEX

補助金



箱もの



行政への期待

「一緒にやろう」「一緒に考えよう」
という仲間としてのスタンス



行政への期待

- 1 基本姿勢
- 2 与件
- 3 10年後のVISION
- 4 コンセプト
- 5 具体的施策
- 6 行政への期待
- 7 最後に

INDEX



全ての墨田区民にとって
基本計画を**自分ごと**に

最後に

[illegible]

事務局 墨田区企画経営室政策担当

〒130-8640 墨田区吾妻橋 1-23-20
TEL 5608-6231 FAX 5608-6407
E-mail:SEISAKU@city.sumida.lg.jp